

令和 7 年度 東京都立王子総合高等学校 学校経営報告

1 今年度の取組目標に対する成果と課題

5 つの目標 (5★ Five Star)

(1) 成果と課題 【A】：十分達成できた 【B】：概ね達成できた 【C】：あまり達成できなかった

今年度の目標	評価	具体的 な方 策
1 生徒の主体性を育む教育活動をマネジメントする	B	① 各分掌、年次、教科は生徒の主体性を育成するためのマネジメントを実践する。
	B	② 授業では生徒が主体となるアクティブラーニング、探究活動、発表を増やす。
	C	③ HR、学校行事、部活動、生徒会、委員会は、リーダーを育成し、委ねる。
	A	④ 学校行事、部活動、生徒会、委員会は、縦割り組織やマネジメント経験を積ませる。
	B	⑤ 三大多行事は、失敗を恐れず生徒主体とし、最後までやり抜くよう指導する。
	A	⑥ 生徒の主体的取り組みは、HP、インスタグラム、学校通信などでPRする。
	C	⑦ 生徒会や部活動は、ボランティア活動や地域貢献に積極的に取り組む。
2 授業改革（探究学習、デジタル活用、プレゼン力、資格・検定）に取り組む	A	① 総合学科の特色・魅力である授業をブラッシュアップする。
	B	② カリキュラム・マネジメントを意識した教育課程と評価を検討する。
	A	③ 各教科は生徒向けルーブリックと明確な評価基準を全科目で作成する。
	B	④ わかりやすく具体的なシラバス作成、履修相談・履修登録方法を改善する。
	B	⑤ 全教科で探究的な見方・考え方を取り入れた学び方、教え方を実践する。
	A	⑥ チョーク&トーク授業から脱却し、探究的、協働的、個別最適な授業を展開する。
	B	⑦ デジタル活用やプレゼン力を育成し、PC 端末を効果的に授業で活用する。
	B	⑧ オンライン学習デーに限らず、いつでも双方向オンライン授業を可能とする。
	A	⑨ 英検全員受検をはじめ、各教科、担当教員は資格・検定合格を支援する。
	C	⑩ DXハイスクールとして、理数、AI、データサイエンスへの関心を高め、新規講座を開設する。
	B	⑪ 自己研鑽、人材育成の授業見学4回、若手授業2回、校外研修 1 回を実践する。
	C	⑫ 校務支援システム、採点システム、教育ダッシュボードを活用したエビデンス・考察を導く。
3 キャリア教育・進路指導を見える化・意識化、分析し、第一志望進路実現につなげる	A	① キャリアデザイン部は、1 年産社、2 年探究、3 年課題研究を系統的にまとめたリーフレットを作成し、校内研修で共通理解し全教職員が在校生中学生に語れるようにする。
	B	② キャリア教育の実践をキャリアパスポートやキャリア通信で見える化・意識化/浸透PR する。
	B	③ 中学出前授業で「産業社会と人間」のPR回数を増やし総合学科理解につなげる。
	B	④ 王子総合のキャリア教育校内研修で理解し全教職員自ら広報ができるようにする。
	A	⑤ 教育関連企業との連携を見える化し、校内研修依頼やアウトソーシングを進める。
	C	⑥ キャリアデザイン部は年次と連携し、定期的に生徒・保護者に進路希望調査を実施し、結果一覧、各種分析結果を見える化・意識化する。
	A	⑦ キャリアデザイン部は模試の結果を、Excel データでの保存、業者による生徒、保護者、教職員への分析会実施、解説などを見える化し、教科は必ず教科会で話し合う。
4 生徒の心のケアや見守り、マ	A	① 東京都教育ビジョン「誰一人取り残さない」方針に従い生徒指導や生徒支援を行う。
	A	② 配慮が必要な生徒を全教職員が情報共有して見守る体制や個別支援会議を行う。
	C	③ 身だしなみ、ヘルメット着用、遅刻指導は全教職員が同一歩調で指導する。

マナー・ルール指導に組織的に取り組む	A	④ 生徒からの要望は対話を大切にし、生徒の要望を吸い上げ必ず検討する場を持つ。
	A	⑤ いじめを見逃さず、絶対に許さない姿勢を全教職員が認識し、組織的に対応する。
	C	⑥ 教職員による体罰、不適切な言動0を目指し、未然に防ぐよう、全教職員で取り組む。
	B	⑦ 学校が安全・安心な場所となるよう、全教職員で日頃からリスク管理を徹底する。
5 全教職員が校務の効率化を図り、ライフワークバランスを実現する	B	① ライフワークバランス(生活と仕事の両立)のため部活動顧問の負担軽減を目指す。
	B	② 仕事のムダ・ムラをなくした上で、教職員の仕事を平準化する。
	C	③ 校務には必ずメインとサブを配置し、ミス防止、引継ぎ軽減、OJT、効率化を図る。
	A	④ 職員室フリーアドレス化に向け、従来の壁、物、紙を減らし職場の風通しをよくし、仕事の効率化や意識改革を図る。民間コンサルと連携し校務改善をスムーズに図る。
	B	⑤ 年休・夏休消化、テレワーク活用、定時退勤を心がけ、時間外勤務意識する。
	A	⑥ 校長が発行する時間外勤務時間の推移を意識しライフワークバランスを実現する。

(2) 管理職、分掌、年次、PTの成果

1 生徒の主体性を育む教育活動をマネジメントする

- (1) 6/6 体育祭、9/13. 14 文化祭成功、3/17 合唱祭始動
- (2) 部活動活動目標が完成、新体制を学校全体で応援
- (3) 生徒の主体的取組を発信 HP・Instagram 650 回以上、王総 Newsletter 12 回
- (4) 12/23 課題研究発表会「王総の伝統継承」1つの教室で育む伝統!
- (5) 12/24 学習成果発表会「授業の表現者たれ」14 講座の発表は圧巻!

2 授業改革に取り組む

- (1) 全教科・科目ルーブリック作成・生徒提示
- (2) 授業評価アンケート7月、12月実施 生徒授業満足度 93%→95%
- (3) 授業相互見学 若手教員4回を含む6時間以上を見学、助言

3 キャリア教育・進路指導の見える化・意識化を図る

- (1) キャリア教育(産社・探究・課題研究)のブラッシュアップ順調
- (2) 進路希望調査3回実施、模試分析年2回実施
- (3) 一般社団法人「Fora」連携3年目ロードマップ完成、都立AI講演会 うきょうの教育 No155 号

4 生徒の心のケア、見守り、マナー・ルール指導を組織的に取り組む

- (1) 学校教育相談委員会3回、ケース会議3回以上
- (2) 校則見直し 生徒・保護者アンケート、校内研修実施 2月末校則改訂
- (3) 学校評価アンケートによる自由意見検討

5 校務の効率化を図り、教職員のライフワークバランスを実現する

- (1) 職員室フリーアドレス化の完成、心得・共通認識作成
- (2) 「働き方改革推進」をコンサル会社(デロイトトーマツ)にアウトソーシング
- (3) 時間外勤務時間個別票隔月発行
- (4) 教育DX推進(ハンコレス、ペーパーレス等)
- (5) 部活動指導員増員 R6:19名→R7:24名→R8:29名
- (6) 校内組織スリム化 委員会・PT会議減等
R8PT ①働き方改革PT ②研修旅行PT ③英検PT ④DXハイスクールPT

その他 ・DXハイスクール・プロフェッショナル型として、ドローン講座、DRコーゲル講座、理系チューター、講演会等実施
 昨年1千万予算、今年度700万円予算(上記講習、100インチモニター、iPad等購入)
 ・14期生沖縄修学旅行(探究学習)、14期生韓国研修旅行(令和7年度3/27~3/30)
 ・15期生韓国修学旅行(令和8年度10/27~10/30) 契約・実踏、11月姉妹校来校交流
 ・16期生韓国修学旅行(令和9年度10月上旬の予定)
海外探究フィールドワーク指定校申請により、一人2万円補助、国連大学プレゼン発表予定

- ・2年連続英検全員受検（東京都補助により無償）2級合格者7名→22名
- ・令和8年度から一人1台端末をSurfaceからiPadに変更決定
- ・R8入学者選抜 推薦：1.79倍 学力：1.05倍 志願者減の分析・対策

2 来年度への課題

令和7年度	令和8年度
(1) 生徒の主体性	生徒の主体性を育む教育活動をマネジメントし、レベルアップを図る。リーダーの育成を図る。
(2) 授業改革	授業改革（探究学習、デジタル活用、プレゼン力、資格・検定等）に取り組み、共有化する。授業評価アンケートを活用する。
(3) キャリア教育推進と進路実現	生徒の第一志望を見える化・計画化、相談・分析し、チームで合格に導く。キャリアカウンセラーを核とする。
(4) 生徒の心のケア、見守り、マナー・ルール指導	生徒の心のケア、見守りの徹底、マナー・ルール指導に、全教職員が同一歩調で取り組む。
(5) 教職員のライフワークバランス実現	全教職員が相互理解し合い、校務の効率化を図り、ライフワークバランスを実現する。フリーアドレス化職員室でコミュニケーションを図る。

3 重点目標と数値目標の結果

重点目標	具体的な数値目標	達成数値
生徒・保護者満足度 【A】	学校評価アンケートとして、生徒は年2回実施。 生徒の学校満足度（肯定的評価） <u>85%以上</u> 保護者の学校満足度（肯定的評価） <u>85%以上</u>	2回 <u>84.0%</u> <u>94.0%</u>
キャリア教育の充実 【B】	① 進路決定率 <u>95%以上</u> ② 4年生大学進学者数 <u>100名</u> ③ 大学入学共通テスト出願者 <u>40名</u> ④ 各種資格・検定試験基準級合格者数 <u>250名</u>	<u>85.0%</u> <u>117名</u> <u>28名</u> <u>498名</u>
募集対策の充実 【B】	① 学校見学会・説明会の参加者 <u>2,500名</u> ② 応募倍率（推薦選抜） <u>2.20倍</u> （学力選抜） <u>1.50倍</u> ③ ホームページの1日当たりのアクセス数 <u>1,000回</u> ④ インスタグラム、ホームページの更新回数 合計 <u>300回</u>	<u>2,709名</u> <u>1.79倍</u> <u>1.05倍</u> <u>6,841回</u> <u>643回</u>
Tokyo スマートスクールプロジェクト並びに「東京型教育モデル」の実現 【A】	① 暗記中心、チョーク&トークのパッシブな授業形態や過去の成功体験からの脱却した主体的・対話的で深い学びの授業実践 全教職員による実施 <u>100%</u> ② 校内 Wi-Fi を活用した ICTによる全教職員による授業実践 <u>100%</u> ③ 全教職員による Office365 Teams の活用実践 <u>100%</u> ④ 電子起案率 <u>100%</u>	<u>100%</u> <u>100%</u> <u>100%</u> <u>100%</u>
働き方改革の実現 【B】	① 教職員の夏休消化率 <u>100%</u> ② 教職員の年次有給休暇15日以上取得率 <u>100%</u> ③ 各月の残業時間80時間超の教職員数平均 <u>0名</u> ④ 男性教職員の育児休暇取得及び育児短時間制度取得者数 <u>1名以上</u> ⑤ 全教職員のテレワーク取得率 <u>100%</u>	<u>100%</u> <u>55.8%</u> <u>3名</u> <u>2名</u> <u>43.0%</u>